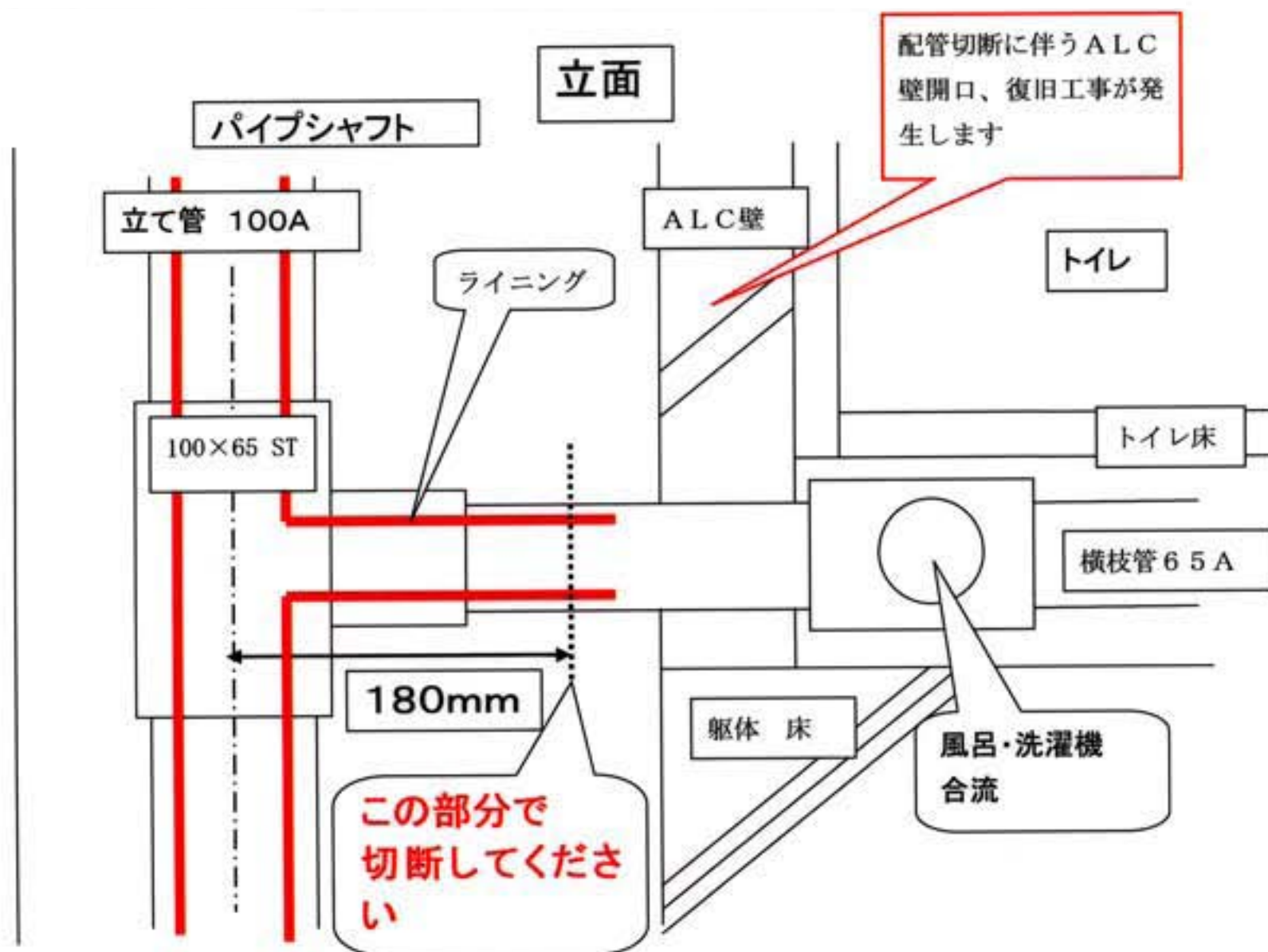
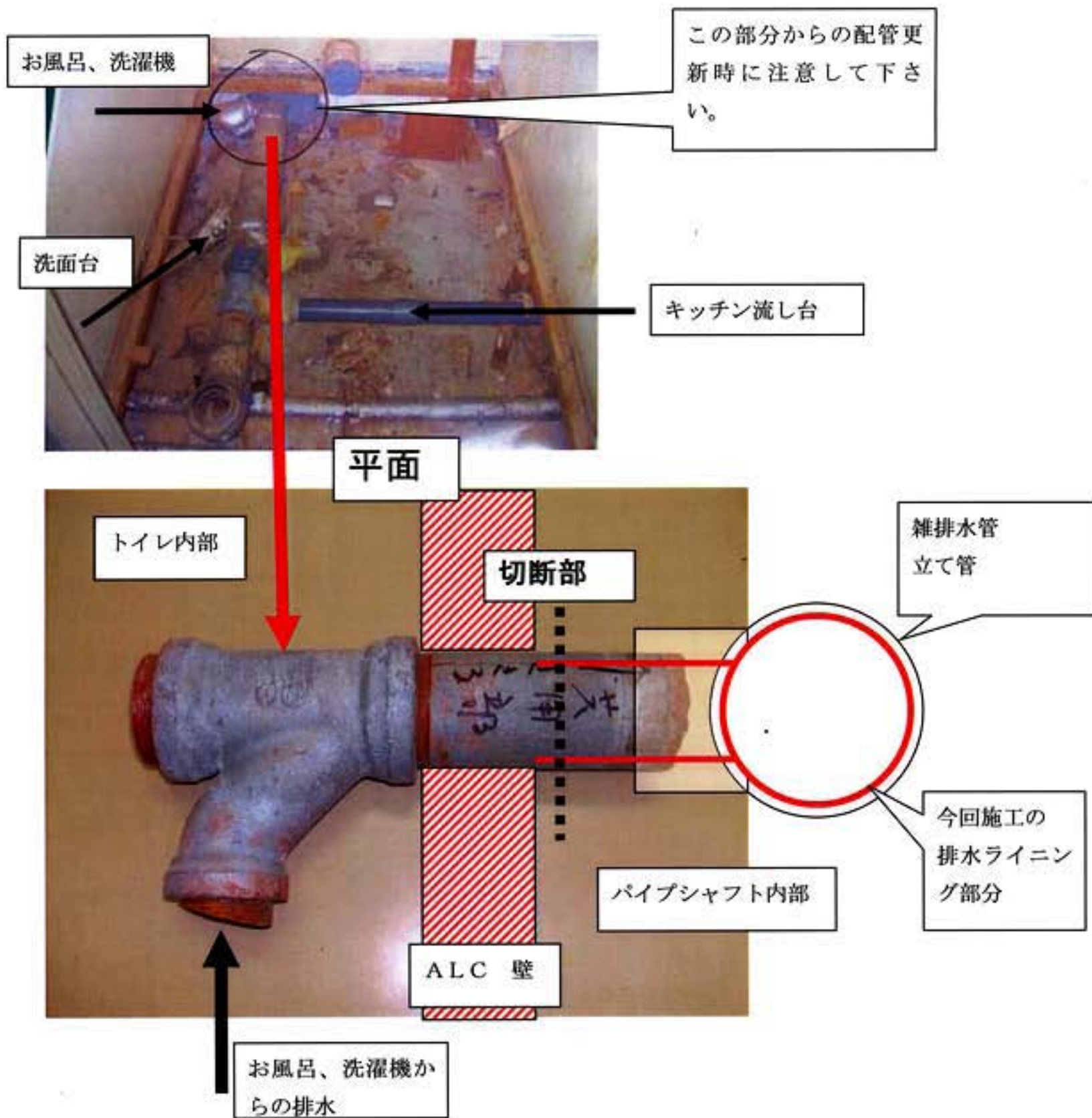


専有部雑排水管更新を伴うリフォーム工事施工時のご注意



- ・ 切断端面に防錆処理をお願いいたします。
- ・ 横枝管65A(鋼管)は100×65STに差込接続されておりますので、切断時STより抜けないように支持をしてから切断してください。



- ・ 切断出来る大きさでALCの壁を開口し…部分より配管を切断して下さい。
- ・ ALC壁開口に伴う復旧作業が発生します。
- ・ 写真のTY部より引き抜きますと今回施工したライニング部分を破壊してしまいますので必ず切断して下さい。
- ・ 切断面に防錆処理を行い排水継手（MD・ストラブカップリング等）で接続して下さい。



トイレ内
便器取り外し
床開口準備



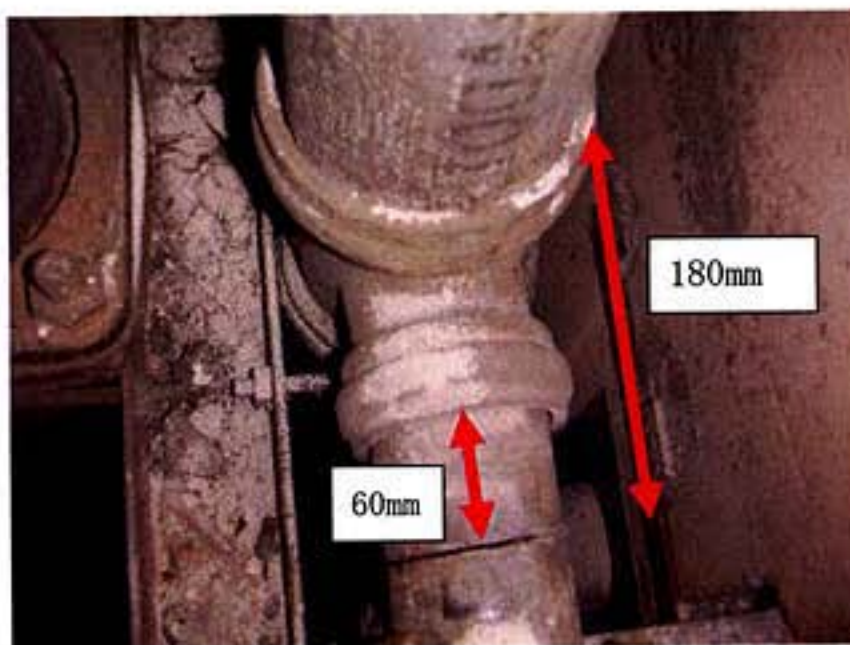
トイレ内
床の開口



トイレ内
壁 (ALC) の開口



PS (パイプスペース) 内部
雑排水管 (100A 白ガス管)
開口サイズ45°程度



切断部分
雑排水管センターより 180mm
継手端面より 60mm
(継手種類により変わる)



MD ソケットにて接合



スリーブ ソケットにて接合

接合用継手一覧

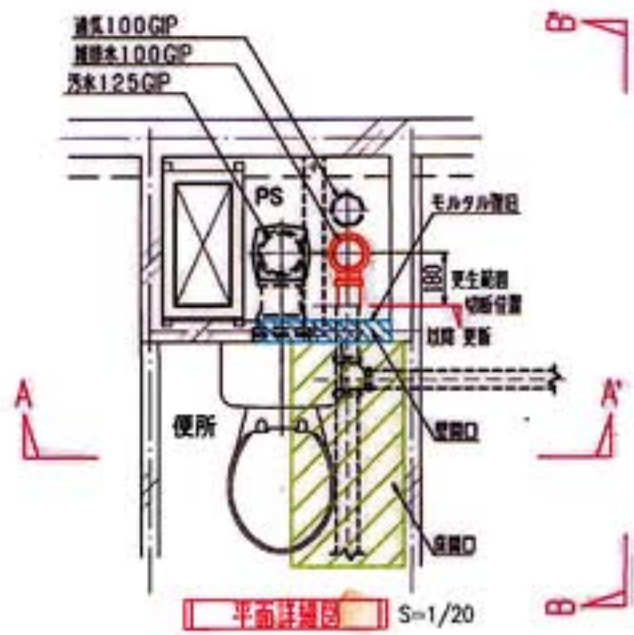


左：MD
右：スリーブ

左：ストラブカップリング
右：MAジョイント



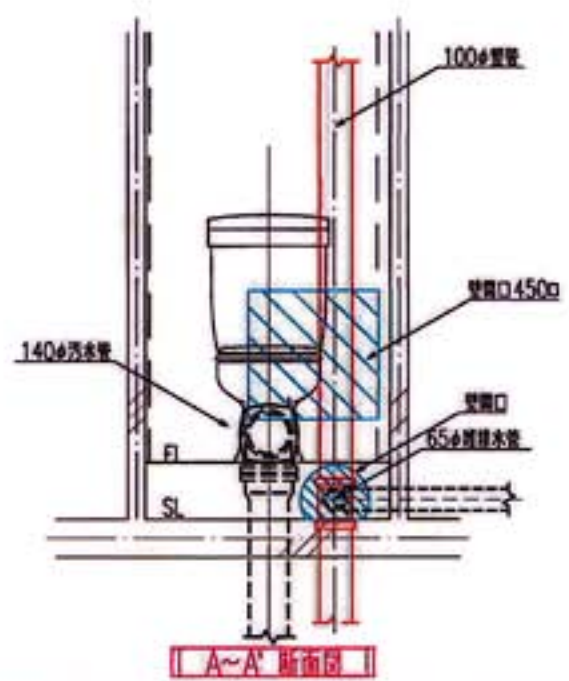
新規配管は耐火性の有る材料
耐火2層管、排水用ライニング鋼管
で施工して下さい。



施工手順

- 1) トイレ便器、ロータンクを取外す。
- 2) 左図で示した切断位置(共用整管センターから室内側へ180mm)で、切断作業の出来る大きさでALC壁を、開口する。
- 3) トイレ床を、必要な範囲 開口する。
- 4) 左図切断位置で、既設管を切断し、専有部排水管を 更新する。更新に際しては、以下の事項を遵守する事。
 ※1、既設管切断面には、必ずエポキシ系パテ等を用いて防錆処理を、施す事。
 ※2、トイレ床下内配管は、耐火性の有る材料(耐火2層管 排水用ライニング鋼管)を使用する。
 ※3、既設管切断部は、排水継手(MD・ストラブカップリング等)で、接続する。
- 5) 開口した壁・床面を復旧する。
- 6) 取外した便器、ロータンクを復旧する。

施工写真抜粋



— : 施工対象管
 - - - : 専有部 雑排水管

工事名	新松戸中央パークハウス	図名	専有部雑排水管更新工事参考図	2007, 9		
				S=1/20, non		